

みちしるべ地域生活支援事業 令和元年度 事業報告

(1) 取り組んだ事業

視覚障害者生活訓練

- ・岡山県、岡山市ならびに倉敷市の地域生活支援事業

(2) 実施体制

- ・管理者……………1名（相談支援事業管理者・岡星寮長兼務）
- ・生活訓練専門員……2名（専任）
- ・事務員……………1名（兼務）

(3) 訓練状況

◇岡山県

歩行訓練……………18名（85回）

点字訓練……………5名（128回）

パソコンその他IT訓練……12名（77回）

ADL訓練……………5名（15回）

※初回面談10回

合計315回

◇岡山市

29名の利用

継続9名、新規20名、終了16名

訓練回数 283回

医療機関、ケアマネ、相談支援事業所、当事者グループなどからの紹介があった。
新規の申込みは継続的にあった。

◇倉敷市

12名の利用

継続3名、新規5名、再訓練4名、終了7名

訓練回数 156回

豪雨災害により、新居への引っ越し等で自宅内や周辺環境の訓練などにも対応した。
利用数は昨年より増えている。各地域のケアマネやくらしき健康福祉プラザからの紹介などがあった。

(4) その他

訓練項目としては、歩行訓練や点字・パソコンの訓練に加えタブレット端末やスマートフォンの訓練も増えている。

紹介元は、岡大眼科をはじめ地域の眼科、相談支援事業所、地域包括支援センター、役所からの問い合わせなどとなっている。

岡大ロービジョン外来に出向き、白杖やスマートフォンなどの紹介をした。受障間もない方・軽度のロービジョンの方と直接関われ、早い対応が可能となっている。

福祉サービスの相談や調整などの訓練前の相談が多かった。

令和2年9月に開催予定の第29回視覚障害リハビリテーション研究発表大会 in 岡山の準備を行っている。